



令和8年度

養護教員基礎力向上研修会

養護教員基礎力向上研修会とは…



基礎形成期（経験年数1～5年）の養護教員の育成支援として、長野県保健厚生課が中心となって実施している事業です。飯田下伊那地区では、令和3年度より南信教育事務所飯田事務所が、会場の確保や通知の発出等の支援を行っています。

本研修会は、新たな知識を学び合う場であるとともに、日常業務に関する情報交換や、養護教員同士のつながりを深める機会でもあります。明日からの実践に生かすことができる研修会となることを目指しています。

Let's have a discussion

救急処置について考えよう

～最悪を想定し最善を尽くす～

令和7年度、基礎形成期にある養護教員を対象にアンケートを実施しました。その結果、救急処置について「いざという時に迅速に対応できるか不安である」と感じている先生が多いことがわかりました。基礎形成期においては、症状の的確な判断や迅速な対応、さらには事故事例の分析が重要です。そこで今回は、「救急処置」をテーマに、全員でディスカッションを行いました。



頭部のけが（目・鼻・耳）について、事例をもとにディスカッションして ～参加者の感想～



いつも処置を悩みがちな、顔周りのけがや頭部打撲など、リーダーの先生方の事例とともに教えていただき、とても勉強になりました。普段の対応を見つめ直すきっかけにもなりました。また、保健室における救急処置は、悪化防止・手遅れ防止ということも改めて意識しながら対応していこうと感じました。

Development Support Leader

基礎形成期の先生方を支える養護教諭育成支援リーダー



飯田下伊那では、4名の養護教諭がリーダーとなり、基礎形成期の育成支援活動を行っています。活動内容は、先生同士の交流促進や、保健室経営に関する指導・助言、相談対応などです。さらに、保健室へ出向き、日々の業務の中で生じる疑問や不安について相談することもできます。希望がある場合は、リーダーへご連絡ください。



救急処置は経験を通して身に付く部分が大きいと思いますが、実際の場面で初めて判断するとなると、不安や迷いが生じることがあります。そのような中で、さまざまな事例について考えたり、参加者の皆さんやリーダーの先生方の考えを聞いたりする機会を得られたことで、判断の際に重要な視点について学ぶことができました。

throughout

アセスメントが重要 そして先入観に捉われることなく対応する



本研修会では、適切な判断や行動につなげるために、必要な情報を収集し客観的に分析・評価するアセスメントの重要性を学びました。また、思い込みや先入観にとらわれない対応の大切さについても理解しました。医療機関へ引き継ぐまでに、症状の悪化や手遅れを防ぐためには、養護教員だけでなく全職員で組織的に対応すること、そして何よりけがを未然に防ぐ安全管理と危機意識の向上が重要であることを再確認しました。

